

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏の葉162街区計画<駐車場棟>

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE柏2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能					0.43			2.8	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観						3.0			
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性				2.8	0.50			2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法に定められた耐震性		3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能		導入なし		3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				2.5	0.30				
1 躯体材料の耐用年数		等級1相当とした		3.0	0.25				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁:アルミ製40年、床:塗膜防水15年		3.0	0.25				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		内装仕上げ材なし		-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		換気・空調設備なし		-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		配管なし		-	0.25				
6 主要設備機器の更新必要間隔		照明器具20年		4.0	0.25				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備		換気・空調設備なし		-	-				
2 給排水・衛生設備		給排水設備なし		-	-				
3 電気設備		ア)地下なし		3.0	0.50				
4 機械・配管支持方法		基本要求基準とした		3.0	0.50				
5 通信・情報設備		通信設備なし		-	-				

3 対応性・更新性			2.7	0.50	-	-	2.7
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.1m	1.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.16	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3000N/m ²							
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	換気・空調設備なし	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性	給排水設備なし	3.0	0.29	-	-	
3	電気配線の更新性	槽部を痛めることなく更新・修繕が可能	3.0	0.14	-	-	
4	通信配線の更新性	通信設備なし	-	-	-	-	
5	設備機器の更新性	ルートは確保されるが、建物機能は維持できない	3.0	0.29	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペース無し	3.0	0.29	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = -	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	1.00	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	
給水設備なし							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用の仕組みなし	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑排水等を利用していない	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1	材料使用量の削減	Fc=24、F=295A	2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	再利用していない	3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	評価対象外	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	取組みなし	3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.4	0.20	-	-	4.4
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
確認していない							
3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70	-	-	
1	消火剤	評価対象外	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	1.00	-	-	
3	冷媒	評価対象外	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	
2 地域環境への配慮			3.5	0.50	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
燃焼機器は使用していない							
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	適切な量の自転車置き場、駐車スペースの確保	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	